

— 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —



技術資料

データ容量算出

資料をご利用の際にはWebサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

資料の目的

- ・ SKYSEA Client View の各機能において、サーバーにて必要になるディスク容量を算出するための資料です。

■ディスク容量構成（データサーバー）

A. 操作ログ = 1MB × 端末台数（台）

※1日あたりのログを1MBで計算（ログデータ圧縮時は0.5MBで計算）

B. 画面録画 = 20MB × 録画時間（時間 / 日） × 端末台数（台）

※1時間あたりの画面録画ログを20MBで計算

C. サーバー監査 = 370MB × 監査対象サーバー台数（120日までは820MB）

※監査対象サーバーの性能上の上限にあたる、1日あたり800万件のイベントログが出力される想定で算出

合計 = (A + B + C) × 保存日数 × 安全係数

■補足事項

- ・1日あたりのログ容量は、操作内容により変動します。
- ・操作ログの想定値1MBは、事務作業などの一般的な業務で、1日8時間稼働した場合の想定容量となります。
- ・クリップボードログ、送信メールログは考慮しておりませんので、それらをご利用になる場合は、想定ログ容量を変更した上で計算をお願いいたします。
- ・画面録画の想定値20MBは、参考値になります。録画対象画面での画面変動の大小により、容量は変動いたします。
- ・安全係数は、ディスク容量が不足しないように余力を作り出すための倍率です。予測容量に対して何倍の余力を見込むか、任意の数値を設定してください。例) 2倍の余力を見込む場合は「2.0」

■ディスク容量構成（マスターサーバー）

必要容量 = 80GB 以上

※内訳参考値

資産情報 = (資産情報 :30KB + EXE 一覧 :270KB) × 端末台数 (台) × 2.6 (基準値)

■補足事項

- ・資産情報の他にソフトウェア配布、Windows 更新設定のプログラム、ワンタッチレポート解析データも保存されます。
- ・資産情報の想定値は弊社想定容量です。
- ・端末にインストールされるアプリケーションなど、構成により変動します。
- ・基準値の内訳は、資産情報想定容量の余力値として1.3倍、障害時などのデータ退避領域として2倍を見込んでおります。

■ディスク容量構成（ログ解析／レポート用サーバー）

A. 集計データ = **2MB** × 【保存月数+1】（月） × 端末台数（台）
※計算した必要容量が 40GB に満たない場合は、40GB 以上を見込んでください。

B. 部署情報の履歴 = **2.6MB** × 端末台数（台）
※10GB 単位に切り上げ。

合 計 = (A + B)

■補足事項

- ・各レポートのデータ最長保存月数は、ログ解析 13 ヶ月・レポート 37 ヶ月となります。
- ・必要容量の算出に使用する保存月数は、いずれかの長い期間を利用してください。
- ・部署情報の履歴の保存月数は、固定で 13 ヶ月です。

■ディスク容量構成(資産データWeb閲覧機能サーバー)

必要容量 = 10GB以上

※管理端末台数による変動はありません。

■ディスク容量構成(ログデータWeb閲覧機能サーバー)

必要容量 = Webサーバー用として10GB以上、データベース用として20GB以上

※管理端末台数による変動はありません。

資産データWeb閲覧機能とログデータWeb閲覧機能は、それぞれ単体でのご利用、または、両方を併せてご利用いただくことができます。

資産データWeb閲覧機能とログデータWeb閲覧機能を併せてご利用の場合、ディスク容量はログデータWeb閲覧機能サーバー単体の場合と同様になります(資産データWeb閲覧機能サーバー分の10GBは加算不要)。

■ ディスク容量構成（モバイル情報収集サーバー）

必要容量 = 20GB 以上

※管理端末台数による変動はありません。

■ 補足事項

- ・ 1 モバイル端末 1 日あたりに収集するデータは 100KB を想定。
収集したデータはモバイル情報中継サーバーを介し、マスターサーバーやデータサーバーに格納します。

■ ディスク容量構成（モバイル情報中継サーバー）

必要容量 = 40GB 以上 管理端末が 1000 台以下の場合 20GB 以上